

藤沢市での「SDGs×アート」探究学習、3年目はウェルフェアポート湘南と連携 生徒たちが考案した補助犬啓発デザインを展示

展示期間:2025 年 7 月 2 日 (水)～7 月 16 日 (水)

文京学院大学女子高等学校（校長：清水直樹）は、藍左師・守谷玲太氏（株式会社アートモリヤ 藤沢市）監修のもと、「サステナブル」と「アート」をキーワードに、藤沢市の環境問題や地域課題をアートで表現・発信していく実践型の探究学習を2023年から毎年実施しています。3年目を迎える今年は、補助犬の啓発を目的にアオバジャパン・インターナショナルスクール生徒と共同制作した啓発マークとグッズを展示することをお知らせします。

今年で3年目を迎える「AOBA×BUNKYO 藍 indigo project」概要

本プロジェクトは、探究活動の一環で、本校生徒および本校と教育連携を行うアオバジャパン・インターナショナルスクールの生徒との共同プログラムとして一昨年からスタートし、芸術性と持続可能性を兼ね備えた「藍」をベースとしたアート作品の制作を通して、SDGs や社会課題を考え、発信することを目的にしています。

3年目を迎えた今年は、両校から32名の生徒が参加し、「人間に寄り添う犬から考えるインクルーシブな社会」をテーマに、特定非営利活動法人ウェルフェアポート湘南（神奈川介助犬聴導犬協会）と連携し、藤沢市での補助犬に関する取り組み事例についての講義・実地研修を実施してきました。そして、さまざまな役割を果たす「犬」を起点にインクルーシブな社会の在り方を考え、藤沢市在住の藍左師・守谷氏監修のもと、藍染めの表現技法を学びながら、藍を使って補助犬啓発マークをデジタルでデザインしました。

今回のプロジェクトで、8つのグループに分かれた生徒たちにより制作された作品は、介助犬を引退した犬がいるカフェ「Terrace-TiPi」（藤沢市）で展示を行います。補助犬啓発マークのデザインと、それを象ったキーホルダーやシール等のグッズ、制作過程をドキュメンタリー形式でまとめたフォトアルバムが展示されるとともに、全8グループのデザインをまとめて紹介するリーフレットの配布も行います。



藤沢市での実地研修で犬と触れ合う生徒たち

「Terrace-TiPi」（藤沢市）とのコラボ展示企画 実施概要

- 実施期間：2025 年 7 月 2 日（水）～7 月 16 日（水）
- 実施場所：「Terrace-TiPi」 神奈川県藤沢市鵠沼橋 1-7-2-5
※店舗 HP：<https://www.terrace-tipi.com/>
- 営業時間：昼の部 11:30～15:00（L.O 14:30）
夜の部 18:30～22:00（L.O 21:30）
- 定休日：月曜・火曜
※臨時休業等はお店 HP や SNS でご確認ください。
- 展示作品：①補助犬啓発マークデザイン（全8テーマ・デザイン）
A『心で繋がる』 B『共に歩む、共に生きる』
C『補助犬も大切なパートナー』 D『ESD』
E『人と寄り添う犬』 F『愛染め犬』
G『MKCE』 H『僕に気づいてワン』
②啓発グッズ（キーホルダーやシール）
③ドキュメンタリーフォトアルバム
④デザイン紹介リーフレット（持ち帰り可）
※無くなり次第、終了となります。



全8テーマの啓発マークデザイン